

分かりやすく

平成25年度決算をお知らせします。

可児市の平成25年度決算（一般会計）を年収480万円のかにさん一家の家計に見立てて、家計簿を表してみました。

※市では給与収入300万円～500万円の納税義務者の割合が最も高くなっています。
※対前年度比は、四捨五入前の数値で計算しています。

かにさん一家の紹介

別居



おじいちゃん

息子の夢の実現に向けて応援しています。



お父さん

夢の実現に向けて奮闘中のサラリーマン。



お母さん

パート勤めのお母さん。家計を厳しくチェックします。



娘

習い事に忙しい中学生。

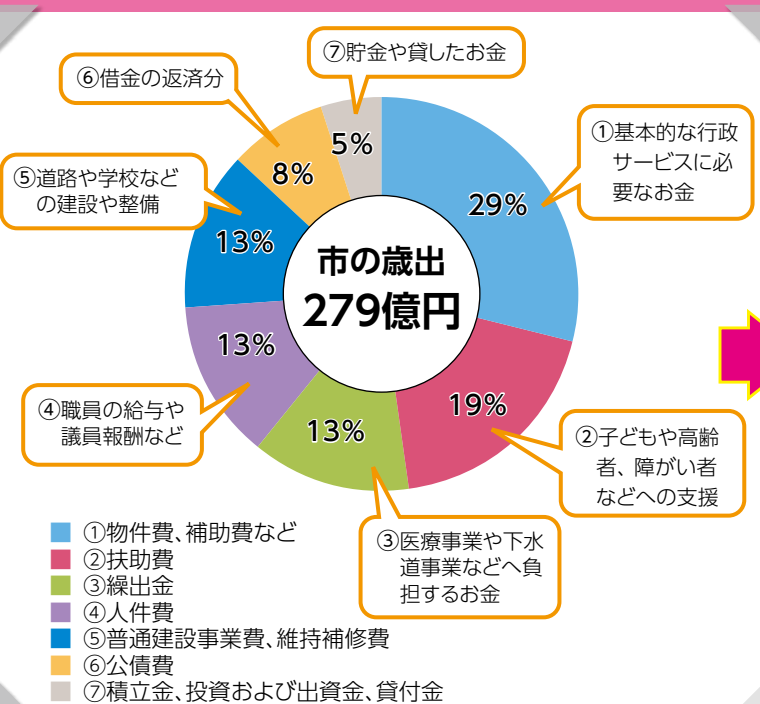
別居



息子

仕送りで生活する学生。自立に向けて頑張っています。

どんな支出があったんだろう？



支出のポイント

24年度に引き続き、扶助費（子どもや高齢者、障がい者などへの支援）の割合（19%）が高くなっています。25年度は、公共施設の整備に対する割合（13%）が24年度（10%）より高くなりました。KYBスタジアムの整備が主な要因です。

かにさん一家の家計簿

家計簿 (1ヵ月当たり)

支出

①物件費など	光熱水費	10.9万円
②扶助費	医療費・養育費	7.3万円
③繰出金	息子への仕送り	5.0万円
④人件費	食費	5.0万円
⑤普通建設事業費など	家の補修	4.7万円
⑥公債費	ローン返済	2.9万円
⑦積立金など	預貯金	1.7万円
合計		37.5万円

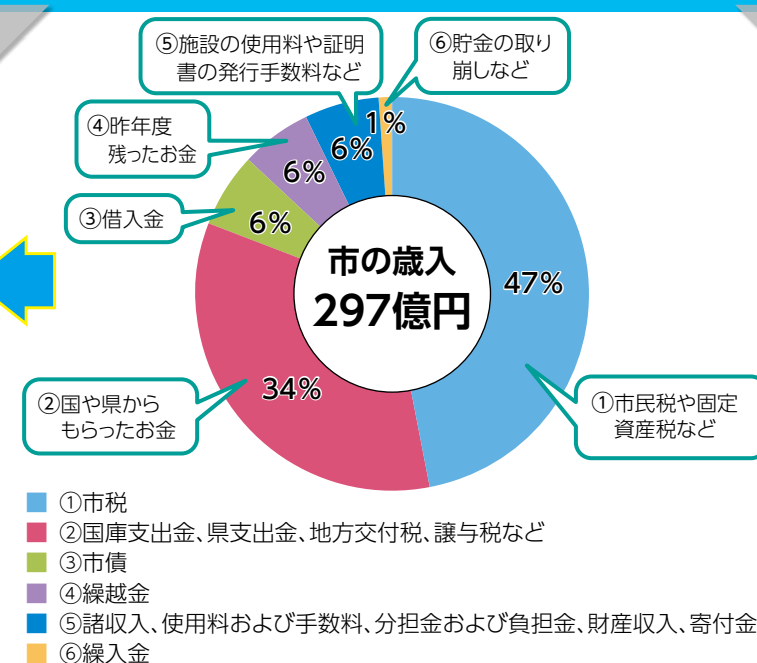
ローン残高 276万円

預貯金残高 157万円

収入

給料	18.6万円	①市税
祖父からの支援	13.7万円	②国庫支出金など
銀行からの借入	2.5万円	③市債
先月残ったお金	2.5万円	④繰越金
パート収入	2.4万円	⑤使用料など
預貯金の取り崩し	0.3万円	⑥繰入金
合計	40万円	

どんな収入があったんだろう？



収入のポイント

市税や国、県からもらうお金が収入の大半を占めています。市民の皆さんの税金で市の仕事を支えられています。25年度の諸収入や寄付金などによる収入の割合（6%）は、24年度（7%）より下がりましたが、新たな財源確保に努めています。



家族の医療費や娘の養育費（扶助費）が今月（25年度）も多いわ。これらの支払いはどうしても必要だから仕方ないわね。今月は、子ども部屋のリフォーム（普通建設事業費など）もしたし…。それでもローン残高は少し減ったし、うまくやりくりして預貯金も増えたわ。



市の財政は大丈夫かな？詳しくは11月1日号で！

借金残高	171億円	(対前年比△0.4%)	(前年度172億円)
市民一人当たりの借金残高	17万円	(対前年比△0.1%)	(前年度17万円)
預貯金残高	97億円	(対前年比+13.3%)	(前年度86億円)
市民一人当たりの預貯金残高	9万7千円	(対前年比+13.7%)	(前年度8万5千円)

※出納整理期間中の積立額および取崩し額を含んでいます。
※平成26年1月1日現在の人口100,815人で計算しています。



お父さんの給料（市税、固定資産税などの市税）は、先月（24年度）より減ったわ。でも、おじいちゃんが助けてくれた（国庫支出金など）から、今月（25年度）もなんとかやっていけたわね。借入れ（市債）を少なくして、今後の返済に困らないようにしなくちゃね。

平成25年度 特別会計の決算

「特別会計」とは、特定の事業を行うために設置している会計です。その事業収入は使い道が決まっており、一般会計とは区別して経理しています。

会計名	収入額		前年度対比	主な内容
	支出額			
国民健康保険事業 (事業勘定)	110億4,095万円		4.7%	前期高齢者交付金(31億4,385万円) 国民健康保険税(28億9,374万円) 国庫支出金(18億7,736万円)
	103億3,924万円		3.2%	医療費の公費分を医療機関へ支払いました。(62億4,837万円)
国民健康保険事業 (直診勘定)	1,829万円		6.3%	繰入金(900万円)・診療収入(775万円)
	1,586万円		0.9%	久々利診療所の運営・管理のため、賃金の支払いや医薬品の購入などに充てました。(1,586万円)
後期高齢者医療	8億5,775万円		5.5%	後期高齢者医療保険料(6億8,096万円) 繰入金(1億4,648万円)
	8億3,406万円		5.7%	75歳以上の人の医療費の公費分を医療機関へ支払いました。(7億7,912万円)
介護保険 (保険事業勘定)	54億6,988万円		6.8%	支払基金交付金(14億8,661万円) 介護保険料(14億13万円)・国庫支出金(9億8,567万円)
	53億7,721万円		7.2%	介護サービスの公費分を介護事業者へ支払いました。(49億7,190万円)
介護保険 (サービス事業勘定)	2,778万円		22.6%	予防給付費収入(2,510万円)
	2,479万円		24.1%	介護予防プランの作成に関する費用を支払いました。(2,479万円)
自家用工業用水道事業	1億7,820万円		2.1%	水道使用料(1億5,367万円)
	1億4,999万円		0.0%	一般会計への繰出しのほか消費税や愛知用水施設の管理負担金などを支払いました。(1億4,999万円)
公共下水道事業	30億1,261万円		△2.7%	下水道使用料(12億9,598万円) 繰入金(12億7,805万円) 市債(1億8,580万円)
	29億2,255万円		△0.6%	借入金の返済に充てました。(19億7,134万円) 木曽川右岸流域下水道の維持管理負担金などを支払いました。(6億8,012万円)
特定環境保全公共下水道事業	2億8,442万円		1.2%	繰入金(1億5,581万円)・下水道使用料(8,370万円)
	2億3,729万円		△0.4%	借入金の返済に充てました。(1億7,108万円) 木曽川右岸流域下水道の維持管理負担金などを支払いました。(6,439万円)
農業集落排水事業	1億7,825万円		△2.3%	繰入金(1億2,460万円)・下水道使用料(4,289万円)
	1億7,068万円		△1.0%	借入金の返済に充てました。(1億99万円) 浄化センターの維持管理などの費用に充てました。(6,692万円)
可児駅東土地区画整理事業	1億5,520万円		△22.4%	繰越金(9,312万円)・繰入金(6,208万円)
	1億2,156万円		13.7%	可児駅東地区画整理事業に関する設計や工事を行いました。(1億2,156万円)
5財産区(合計)	2,910万円		12.1%	繰越金(1,078万円)・繰入金(811万円)
	1,612万円		6.2%	財産区の運営・管理に充てました。(1,612万円)
合計	212億5,243万円		3.8%	
	202億9,355万円		3.7%	

会計名	収入額(税込)		前年度対比	主な内容
	支出額(税込)			
水道事業会計	収益的収入	22億6,736万円	△1.7%	水道料金(20億1,459万円)・高料金対策補助金(4,000万円)
	収益的支出	22億2,275万円	0.63%	受水費(12億3,358万円)・減価償却費(6億2,796万円)
	資本的収入	1,615万円	△0.5%	工事負担金や他会計からの負担金です。
	資本的支出	7億1,228万円	57.3%	水道施設の更新などの工事費(5億3,498万円) 借入金の返済(8,313万円)
	資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額6億9,613万円は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額2,716万円並びに過年度分損益勘定留保資金6億6,897万円で補てんしました。			

問合せ先 財政課

平成25年度 一般会計の決算

△は前年度対比減を意味します。

収入

科目	25年度決算額	24年度決算額	前年度対比
市税	137億9,511万円	138億1,658万円	△0.2%
繰越金	18億4,961万円	16億4,072万円	12.7%
諸収入	8億5,504万円	9億2,039万円	△7.1%
使用料および手数料	3億5,653万円	3億5,442万円	0.6%
分担金および負担金	3億2,255万円	3億2,209万円	0.1%
財産収入	2億3,094万円	5億1,785万円	△55.4%
繰入金	1億9,667万円	3億7,587万円	△47.7%
寄付金	3,494万円	3,048万円	14.6%
A	176億4,139万円	179億7,840万円	△1.9%
国庫支出金	38億1,017万円	30億1,051万円	26.6%
地方交付税	29億1,299万円	30億4,668万円	△4.4%
市債	18億6,580万円	16億6,610万円	12.0%
県支出金	17億6,926万円	16億9,969万円	4.1%
地方消費税交付金	8億6,087万円	8億6,827万円	△0.9%
地方譲与税	2億9,494万円	3億978万円	△4.8%
ゴルフ場利用税交付金	2億1,130万円	2億1,929万円	△3.6%
自動車取得税交付金	9,344万円	1億494万円	△11.0%
株式等譲渡所得割交付金	9,042万円	708万円	1,177.1%
地方特例交付金	6,759万円	6,728万円	0.5%
配当割交付金	5,666万円	3,014万円	88.0%
利子割交付金	4,176万円	4,031万円	3.6%
交通安全対策特別交付金	1,566万円	1,578万円	△0.7%
B	120億9,086万円	110億8,585万円	9.1%
合計(A+B)	297億3,225万円	290億6,425万円	2.3%

※自主財源とは、市が自主的に収入できる財源です。
※依存財源とは、国や県から配分される財源と借金です。

総収入額は、前年度と比較して2.3%増の297億3,225万円となりました。

市税については、法人市民税の減少などにより前年度比2,147万円の減となり、財産収入や繰入金等も減額したため、自主財源が前年度比3億3,701万円の減となりました。

依存財源については、地方交付税が前年度比1億3,369万円の減となりましたが、国庫支出金が前年度比7億9,966万円増加したことなどにより、前年度比10億501万円の増となりました。

支出

科目	25年度決算額	24年度決算額	前年度対比
民生費	89億5,763万円	87億6,551万円	2.2%
土木費	48億2,812万円	39億6,792万円	21.7%
総務費	36億5,350万円	39億1,026万円	△6.6%
教育費	34億9,056万円	35億6,919万円	△2.2%
衛生費	25億7,900万円	25億8,242万円	△0.1%
公債費	21億3,145万円	22億442万円	△3.3%
消防費	11億7,602万円	9億9,882万円	17.7%
農林水産業費	5億479万円	5億5,039万円	△8.3%
商工費	3億643万円	2億5,189万円	21.7%
議会費	2億6,188万円	2億6,974万円	△2.9%
労働費	1,957万円	4,323万円	△54.7%
災害復旧費	0円	1億86万円	△100.0%
合計	279億895万円	272億1,465万円	2.6%

総支出額は、前年度と比較して2.6%増の279億895万円となりました。

民生費は、前年度比1億9,212万円の増となりました。これは私立保育園への補助金が増えたことなどが要因です。土木費も前年度比8億6,020万円の増となりました。これはK Y Bスタジアム建設によるものなどが要因です。

一方、総務費は前年度比2億5,676万円の減となりました。これは各種基金への積立金が減額したことなどが要因です。